

臨時農業生産情報

(少雨に対する技術対策)

令和元年6月11日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森県では、5月1日頃から降水量の少ない状態が続いています。

青森地方气象台発表（令和元年6月11日13時50分）「少雨に関する青森県気象情報 第1号」によると、この状態は、今後2週間程度は続く見込みです。

今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、農作物の適正な管理に努めてください。

1 水 稲

- (1) 水不足が予想される地域では、こまめな水管理に努めながら、節水を心がける。
- (2) 用水を効率的に利用するため、畦畔や水尻を補修し、漏水防止に努める。

2 畑作・野菜・花き

- (1) 転作大豆では、ほ場の状況を確認し、出芽していないほ場等は、明きょやうね間を利用してかん水する。
- (2) 生育初期の露地野菜・花き類は、干ばつに弱いのでかん水に努める。
- (3) 野菜・花き類のハウス栽培では、生育に応じた追肥とかん水を行い、草勢を維持する。
- (4) 野菜・花き類のは種や定植は、かん水後に行う。
- (5) 乾燥が続くと、ハダニ類、アブラムシ類、うどんこ病等の発生が多くなるので、早期発見、早期防除に努める。

3 りんご等果樹

- (1) 苗木や若木は乾燥の影響を受けやすいので、園地の状況を確認し、乾燥している場合は1㎡当たり20リットル程度をかん水する。
- (2) 草からの蒸散を防ぐため、草刈りをこまめに行い、樹冠下に敷き草をする。
- (3) ただし、おうとうでは着色期以降、かん水を控えるか少なめに行う。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲) 農産園芸課稲作振興グループ 総括主幹 腰巡好之 (畑作・野菜、花き) 農産園芸課野菜・畑作物振興グループ 総括主幹 大和山真一 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ 総括主幹 小松弘明
電話番号	(水稲) 直通 017-734-9480、内線 5073 (畑作・野菜、花き) 直通 017-734-9481、内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 船水浩人 内線 4967

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンや携帯電話にメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。